

令和5年度学校評価 自己評価			A	B	C	D
			うと ても 思	思ま うあ まあ	わあ なま いり 思	な全 い然 思わ
項目	番号	評価事項				
目教 標育	1	本校は、全校集会やホームルーム、PTA総会や学級懇談会や三者面談などで、本校の教育目標や学校の様子を、生徒や家庭にしっかり伝えている。	27%	68%	5%	0%
	2	教師は、主体的で対話的な深い学びを意識した授業を実践している。	41%	55%	5%	0%
学習 指導	3	教師は、科目成績の決め方を生徒や保護者にきちんと説明し、公平公正に評価を出している。	33%	62%	5%	0%
	4	教師は、生徒の学力向上や単位修得のために、正規の授業以外にも補習の実施や課題の提供などで、積極的に学習支援をおこなっている。	68%	32%	0%	0%
	5	生徒は、真面目に授業へ参加し、教室は学習する雰囲気 が健全に保たれている。	10%	38%	52%	0%
	6	生徒は「学びの重要性」を理解し、授業を真面目に受け、主体的に家庭学習に取り組み、学力をつけている。	9%	32%	59%	0%
生活 指導	7	本校は、健全育成を目指した生徒指導方針の下、生徒に自律性と社会性を育むために、粘り強く指導している。	23%	68%	9%	0%
	8	本校は、人権教育を強化し、いじめや暴力や体罰のない学校づくりに取り組んでいる。	59%	36%	5%	0%
	9	生徒は、基本的な生活習慣(健康的な生活リズム)を身につけ、校則をしっかり守って、学校生活を送っている。	9%	36%	45%	9%
進路 指導	10	本校は、生徒の高校卒業後の将来について、一人一人の興味関心や適性に 応じた進路相談をおこなっている。	45%	50%	5%	0%
	11	本校は、生徒が充実した進路活動に取り組めるよう、有益な進学情報、就職 情報、奨学金情報を提供している。	50%	50%	0%	0%
	12	生徒は、自分の将来について、夢や希望、明確な目標を持って学校生活を 送っている。	9%	41%	50%	0%
教育 相談	13	教師は、生徒に自己肯定感や自己有用感を育むよう、努めている。	36%	64%	0%	0%
	14	本校は、生徒や保護者から信頼があり、教師は誠意をもって教育相談に取り 組んでいる。	32%	64%	5%	0%
美化	15	本校は、いつも掃除が行き届き、清潔で美しい教育環境を保っている。	14%	77%	5%	5%
施設	16	本校の施設や備品は、十分に整備され、安心して利用できる。	27%	55%	18%	0%
安全 管理	17	本校は、生徒が安心安全に学校生活を送れるよう、防災、防犯、情報モラル に対する教育に力を入れている。	45%	50%	5%	0%
	18	本校は、いじめの実態把握・未然防止・早期発見につとめ、生徒が安心できる 環境作りに努力している。	59%	41%	0%	0%
特別 活動	19	本校は、部活動が盛んにおこなわれ、活気にあふれている。	10%	10%	62%	19%
	20	生徒は、生徒会活動やホームルーム活動を主体的に取り組み、自治活動を 協力的におこなっている。	18%	32%	41%	9%
生徒と の家庭 の関 係	21	本校は、学校行事や生徒の学校での様子について、文書や電話や面談等に よって、保護者へ随時丁寧伝えている。	27%	59%	14%	0%
	22	保護者は、学校行事やPTCA活動に協力的に関わり、教育活動を支援してい る。	52%	33%	10%	5%
連中 携高	23	本校と本部町立中学校における連携型中高一貫教育は充実した関係で成立 している。	32%	41%	23%	5%

考察（自己評価）

【特に評価の低い項目】

項目No.6 「生徒は『学びの重要性』を理解し、授業を真面目に受け、主体的に家庭学習に取り組み、学力をつけている。」で、59%の職員が「あまり思わない」と否定的な回答をしている。昨年度(R04:89%)よりは改善していると捉えられるが、さらに主体的に学習に取り組む意欲の向上が必要である。なお、生徒の学習への意欲の低さが、生徒、保護者の回答からも同様に示されていることから、さらに組織的な学力向上の取り組みが必要である。

項目No.9 「生徒は、基本的な生活習慣(健康的な生活リズム)を身につけ、校則をしっかり守って、学校生活を送っている。」の同等の質問に対して、生徒は93%が肯定的意見と高い評価をしているが、職員からの生徒評価は肯定的回答が45%、否定的回答が54%と生徒の視点からの評価と、職員からの評価に乖離が見られる。学校が求める基本的な生活習慣について、生徒に粘り強く理解させる努力が必要である。

項目No.19 「本校は、部活動が盛んにおこなわれ、活気にあふれている。」では、81%が「あまり思わない」、「全然思わない」と回答している。生徒・保護者からも同様に捉えていることから、令和の部活動の在り方をはじめ、生徒の自主的な活動を支援する方法を研究する必要がある。

【特に評価の高い項目】

項目No.4「教師は、生徒の学力向上や単位修得のために、正規の授業以外にも補習実施や課題の提供などで、積極的に学習支援をおこなっている」では、「とても思う」が68%、「まあまあ思う」が32%と全員が肯定的な回答をしており、今年度の重点的努力目標である「指導の個別化、学習の個性化を進め、確かな学力と基本的な生活習慣の確立を図る」ことに全職員で取り組んでいると認識していることがわかる。

項目No.11「本校は、生徒が充実した進路活動に取り組めるよう、有益な進学情報、就職情報、奨学金情報を提供している。」の質問に対し「とても思う」、「まあまあ思う」の肯定的意見が100%と高く、その取組を高く自己評価しているが、同様の項目でも本校職員の取組が生徒、保護者からも高い評価を受けており、自己満足の評価ではない事が分かる。今後も充実した指導を行いたい。

項目No.13「教師は、生徒に自己肯定感や自己有用感を育むよう、努めている」では、「とても思う」が36%、「まあまあ思う」が64%と全員が肯定的な回答をしており、本校の教育方針である「生徒一人ひとりを尊重し、個性の伸長を図る」教育活動に全職員で取り組んでいると認識していることがわかる。

項目No.18「本校は、いじめの実態把握・未然防止・早期発見につとめ、生徒が安心できる環境作りに努力している。」では、「とても思う」が59%、「まあまあ思う」が41%と全員が肯定的な回答をしており、生徒・保護者からも高い評価を得ていることから本校の取り組みが認められていると考える。